

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

| | | | |
|-----|----|--------------------|------------|
| 校種 | 教科 | 教科用図書目録に搭載された教科書総数 | 本報告書の総ページ数 |
| 小学校 | 書写 | 5 | 5 |

調査研究の観点及び各教科書の特徴

| 観点 発行者 | 基礎・基本の定着 | 主体的に学習に取り組む工夫 | 内容の構成・配列・分量 | 内容の表現・表記 | 言語活動の充実 |
|-----------|---|--|--|---|---|
| 2 東書 | <p>○単元の目標の示し方 ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「ア～ウを比べて、用紙に合った大きさを文字を書くにはどうしたらよいか考えましょう」「次の文を、どのような配列で書くと読みやすくなるか考えましょう」と二つ示している。</p> <p>○姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方 ・第1学年では、字を書く姿勢・手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり・とめ・はらい等のイラスト、鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト等 計23P</p> | <p>○問題解決的な学習 ・学習過程を「見つけよう。→たしかめよう。→生かそう。→話し合おう。→広げよう。」と示している。どのように学ぶかを明確にした学習過程で、「書写のかぎ」をキーワードに課題解決的な学習展開になっている。それぞれの学習過程において視点を示して、生かしたり、話し合ったり、広げたりする構成になっている。</p> | <p>○単元等の配列・分量 ・第1学年：硬筆15，記入欄27P ・第2学年：硬筆13，記入欄21P ・第3学年：毛筆10，硬筆3，硬筆記入欄11P ・第4学年：毛筆9，硬筆3，硬筆記入欄12P ・第5学年：毛筆9，硬筆4，硬筆記入欄8P ・第6学年：毛筆9，硬筆3，硬筆記入欄8P</p> <p>○伝統と文化に関する内容の記述 ◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数 どうやってつくるのえんぴつ，どうやってつくるの筆・和紙・すずり・すみ，手書き文字と活字，書きぞめをしよう，手書きの文字のいろいろな書き方他</p> | <p>○配色，レイアウト等表現・表記 ・第2学年「筆順」の単元では，筆順のきまりにあたる部分の色を変えて示している。また，筆順を赤字で示し，一部を○で示し書き込むようにしている。筆順のきまりを赤矢印で示している。書き込み欄を教材文字の下に配置している。書き込み欄を教材文の左右両方に配置し，選んで記入できるようにしている。書き込みマスが4等分されている。</p> | <p>○「生活にひろげよう」「学びに生かそう」の単元を設定している。 ○各学年の教材数と教材例は，次の通り。 ・第1学年(4)「につきをかこう」 ・第2学年(4)「かんさつしたことをかこう」 ・第3学年(4)「実験したことを記録しよう」 ・第4学年(4)「調べたことを伝える新聞を作ろう」 ・第5学年(4)「委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう」 ・第6学年(4)「発表のためのポスターを作ろう」</p> |

| | | | | | |
|----------|---|--|--|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年では、毛筆で机の上・床の上で書くときの姿勢の写真，筆圧，始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト，筆の使い方，用具の置き方と扱い方等の写真とイラスト 計23P | | <p>全学年で35P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> <p>「花さかじいさん」のうた，いろはうた，俳句，短歌，古文，漢詩，漢文 全学年で9P</p> | | |
| 11 学図 | <p>○単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「用紙に対する文字の大きさと配列を考えて書こう」と1つ示している。 <p>○姿勢，点画の書き方，用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では，机の上・バインダーで字を書く姿勢，手や足の置き方の写真とイラスト，線のなぞりとめ・はらい等のイラスト，鉛筆・フェルトペン等の持ち方の写真 計17P ・第3学年では，毛筆で机の上・立って書く・床の上それぞれの姿勢の写真とイラスト，筆圧，始筆・送筆・終筆等の写真，筆の持ち方・おろし方，用具の置き方と扱い方等の写真とイラスト 計16P | <p>○課題解決的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を「1確かめて書こう」「2考えて書こう」「3生かして書こう」と示している。さらに，1は「学習すること何かな?」「まず，書いてみよう」2は「どこをどのように直したらいいのかな」「練習しよう」「まとめ書きをしよう」3は「試し書きとまとめ書きをくらべよう」「学習したことを生かして，硬筆で書こう」「ふり返ろう」「学習したことを，学校やふだんの生活の中でも生かしてみよう」に細分化され，何が身に付いたかが実感できる構成になっている。 | <p>○単元等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆14，記入欄26P ・第2学年：硬筆10，記入欄21P ・第3学年：毛筆7，硬筆0，硬筆記入欄13P ・第4学年：毛筆6，硬筆0，硬筆記入欄22P ・第5学年：毛筆6，硬筆0，硬筆記入欄20P ・第6学年：毛筆5，硬筆0，硬筆記入欄19P <p>○伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数</p> <p>なんの形からできたかん字かな?，ふではどうやって作られているの?，すずりはどうやって作られているの?，かたかなはどうやって生まれたの?，書きぞめをしよう他 全学年で18P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> | <p>○配色，レイアウト等表現・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「筆順」の単元では，筆順のカギに当たる部分の色を変え，筆順を赤字で示している。筆順の決まり（上から，左から）を赤矢印で示している。下部分に新出漢字の筆順を色で分けて示している。書き込み欄を教材文字の下に配置している。なぞり書きがある。書き込みのマスが4等分されている。 | <p>○「書写の資料館」「発展」（第6学年）の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は，次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(7)「かんさつカードを書こう」 ・第2学年(6)「たて書きとよこ書き」 ・第3学年(6)「はがき・原こう用紙・手紙の書き方」 ・第4学年(7)「都道府県名を書こう」 ・第5学年(9)「感謝の気持ちを伝えよう」 ・第6学年(9)「読みやすく書こう」 |

| | | | | | |
|----------|---|---|---|--|---|
| | | | 俳句, 漢文, ことわざ, 短歌, 古文, いろは歌, 行書で書いて みよう 全学年で18P | | |
| 17 教出 | <p>○単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「用紙に対する文字の大きさと配列, 点画のつながりに気をつけて書こう」「用紙に対する文字の大きさと配列, 点画のつながりに気をつけて書こう」(小筆)と二つ示している。 <p>○姿勢, 点画の書き方, 用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では, 字を書く姿勢, 字を消す時の手や足の置き方の写真とイラスト, 線のなぞり方・とめ・はね等のイラスト, 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト 計18P ・第3学年では, 毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト, 筆圧・始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト, 筆の持ち方・おろし方, 用具の置 | <p>○課題解決的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける, くらべる→書く, たしかめる→振り返る, 伝え合う→広げる」の7つの学習過程に細分化されている。「ためし書きと教科書の文字を比べて, 自分のめあてを見つけよう。(考えよう)」→「自分のめあてをたしかめて, 練習しよう。(ここが大切)」→「学習したことを, 他の文字でもたしかめよう(生かそう)」の流れで, 教材を比較・検討し, 気づいたことを生かして書く構成になっている。 | <p>○単元等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年: 硬筆19, 記入欄9P ・2学年: 硬筆9, 記入欄2P ・3学年: 毛筆9, 硬筆6, 硬筆記入欄11P ・4学年: 毛筆10, 硬筆3, 硬筆記入欄9P ・5学年: 毛筆9, 硬筆4, 硬筆記入欄7P ・6学年: 毛筆7, 硬筆2, 硬筆記入欄5P <p>○伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数</p> <p>なんの形からできたかん字かな?, 筆について知ろう, さまざまなかるた, 活字について知ろう, 文字の旅他 全学年で37P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> <p>昔話, 俳句, 短歌, 古文, 行書 全学年で11P</p> | <p>○配色, レイアウト等表現・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「筆順」の単元では, 書き順「よこ画から・長いたて画から」を色の違う太矢印で示している。書き順のきまりにあたる部分を赤で示している。一部の筆順を黒数字で示している。下部分に新出漢字の筆順を黒数字で示している。書き順「よこ画から」「長いたて画から」を2回示している。なぞり書きがある。 | <p>○「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は, 次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(4)「ありがとうガードをかこう」 ・第2学年(3)「しょうたいじょう, 本のしょうかいカードを書こう」 ・第3学年(6)「メモをとってまとめよう」 ・第4学年(6)「学級新聞を作ろう」 ・第5学年(4)「年賀状, 絵はがきを書こう」 ・第6学年(6)「思い出に残る言葉を書こう」 |

| | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|
| | き方、扱い方等の写真とイラスト 計 29P | | | | |
| 38 光村 | <p>○単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「用紙に合った文字の大きさと配列を考えよう」「分かりやすいのはアとイのどちらだろう」と二つ示している。 <p>○姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、字を書く姿勢、手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり・とめ・はらい等の写真とイラスト、鉛筆・フェルトペン等の持ち方、手の動かし方の写真とイラスト 計 20P ・第3学年では、毛筆・鉛筆で机の上で書くとき、腕の使い方、立って書くとき・床の上で書くときの姿勢のイラスト、筆圧・始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト、筆の持ち方やおろし方、用具の置き方と扱い方、用具の後始末等の写真やイ | <p>○課題解決的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の書き方の原理・原則を「考える」→毛筆で書いて「確かめる」→硬筆に「生かす」の学習過程を提示している。「考えよう」「確かめよう」では課題解決的な学習を行っていく中で、自分で考えたり確かめたりするだけでなく友達と話し合う学習展開を設定し、対話的な学びを通して学習を深めるような構成になっている。 | <p>○単元等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆 20, 記入欄 21P ・第2学年：硬筆 15, 記入欄 16P ・第3学年：毛筆 10, 硬筆 3, 硬筆記入欄 13P ・第4学年：毛筆 10, 硬筆 2, 硬筆記入欄 11P ・第5学年：毛筆 9, 硬筆 2, 硬筆記入欄 9P ・第6学年：毛筆 11, 硬筆 3, 硬筆記入欄 8P <p>○伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数</p> <p>かん字ずかん, えんぴつのひみつ, 筆ができるまで, 身近な文字をさがそう, 文字の歴史他 全学年で 29P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> <p>いろは歌, 俳句, 短歌, 古文, 行書 全学年で 7P</p> | <p>○配色, レイアウト等表現・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「筆順」の単元では、書き順のきまりを緑色の矢印で示している。上段：筆順(数字)を決められた色で示している。下段：筆順を赤数字で示している。書き順の決まりを異なる書体と文字で2回示している。書き込み欄を教材右側に配置している。書き込みのマスが4等分されている。 | <p>○「学習に生かそう」「やってみよう」(第2～5学年)「書写ブック」(第6学年)「発展」(第2・6学年)の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は、次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(4)「よこがきのかきかた」 ・第2学年(5)「しょうたいじょうの書き方」 ・第3学年(4)「手紙の書き方」 ・第4学年(3)「リーフレットの書き方」 ・第5学年(4)「インタビューメモの書き方」 ・第6学年(9)「短歌を書こう」 |

| | | | | | |
|-----------|--|---|---|--|---|
| | ラスト 計 26P | | | | |
| 116 日文 | <p>○単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「字配り・配列」の単元では、「読みやすく書く方法を考えて書こう」「用紙に合った文字の大きさを考えて書こう」「文字の大きさと配列をを考えて書こう」と三つ示している。 <p>○姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、字を書く姿勢、手や足の置き方の写真とイラスト、線のなぞり・とめ・はらい等のイラスト、鉛筆・フェルトペン等の持ち方の写真とイラスト 計 16P ・第3学年では、毛筆・鉛筆で机の上・立って・床の上で書くときのそれぞれの姿勢のイラスト、筆圧・始筆・送筆・終筆等の写真とイラスト、筆の持ち方、用具の置き方と扱い方、用具の後始末等の写真やイラスト 計 23P | <p>○課題解決的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を「課題をはっきりさせ、見通しをもつ→学習に取り組む→振り返り、次の学習にいかす」と示している。「一人で学習」「グループで学習」と主体的・対話的な学びについて明記している。書写学習の進め方として「試し書きをする→考える→たしかめる→まとめ書きをする→いかす→ふり返る」と具体的に示している。キャラクターの発言が児童の「気付き」を促し、自己評価を行うことができる構成になっている。 | <p>○単元等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年：硬筆 14, 記入欄 16P ・第2学年：硬筆 20, 記入欄 12P ・第3学年：毛筆 11, 硬筆 5, 硬筆記入欄 5P ・第4学年：毛筆 11, 硬筆 6, 硬筆記入欄 3P ・第5学年：毛筆 11, 硬筆 7, 硬筆記入欄 2P ・第6学年：毛筆 10, 硬筆 7, 硬筆記入欄 4P <p>○伝統と文化に関する内容の記述</p> <p>◇書写の歴史に関する資料等の内容例とページ数</p> <p>年がじょうをかこう、書きぞめをしよう、用具の産地をたずねて、手書き文字と活字、平仮名と片仮名ができるまで他 全学年で 27P</p> <p>◇伝統的な言語文化に関する内容とページ数</p> <p>俳句・ことわざ、伝統的な色、いろは歌、古文、行書、古文、五・七・五 全学年で9P</p> | <p>○配色、レイアウト等表現・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年「筆順」の単元では、筆順を青数字で示し、一部を空欄で示して書き込ませる工夫をしている。新出漢字の書き順を教材文字の横に示している。書き込み欄を教材文字の下に配置している。初めに書く画に赤色を塗るようになっている。 | <p>○「生活と書写」「国語の広場」「チャレンジ」(第5・6学年)の単元を設定している。</p> <p>○各学年の教材数と教材例は、次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年(5)「えにつきをかこう」 ・第2学年(5)「れんらくちょうにかこう」 ・第3学年(3)「手紙の書き方」 ・第4学年(5)「都道府県の書き方」 ・第5学年(5)「原稿用紙の使い方」 ・第6学年(7)「手紙の書き方」 |